

人・音・夢



おかや音楽協会会報

MUSE

2013年 夏号

発行元 おかや音楽協会

# いよいよ2年目が始動



## 今年の音の絹糸は何色に・・・？

四月下旬だというのに、何だか寒々しい気温の中、様々な思いも新たに集まった、当協会会員五十一名の参加によって平成二十五年度的かや音楽協会総会が行われました。早いもので、発足からすでに一年が経過しました。会員の皆さんは、昨年度の活動を通して何を感じたでしょうか。

冒頭に、林会長がその日の天候を、「春は名のみ 風の寒さや」という早春賦の一節に絡めて表現し、「優秀な歌詞というものは、季節をととてもよく表していて、皆に愛され歌い継がれている。おかや音楽協会も、音楽を愛する人たちが協力して、素晴らしいおかやの音楽文化を築いて行って欲しい。」とあいさつ。会場は一気に音楽ムード一色に



なりました。

総会は昨年度の事業報告・決算報告に始まり、今年度の役員紹介・事業計画案・予算案が話し合われ、満場一致で議決されました。

今年度は音楽協会が主催する岡谷市民音楽祭が第七十回の記念の年を迎えます。市民音楽祭は多くの皆さんの参加により支えられています。ぜひとも、会員一丸となって、素晴らしいステージを作り上げていきたいものです。

また、新事業として当協会による歌い継ぎたい日本のうた一〇〇曲の選出作業を予定しています。日本の心、原風景を伝える日本のうたの中から、会員の皆さんのお力をお借りして、歌い継ぎたい曲を選出していきたいと考えていますので、こちらもぜひご協力ください。

さてさて、総会の報告はこのぐらいにして、総会終了後、和やかな雰囲気の中、引き続き交流会が行われました。各テーブルではお菓子を食べながら、和気あいあいと



ペットボトルのお茶で乾杯！

会話する姿が見られました。会員希望者による発表もすばらしく、各会員の活動状況も聞くことができました。そんな交流会の内容を、ご紹介していきたいと思います。



市田和枝さん



そして、市田和枝さん  
当日は、朝から季節外れの雪の舞う日でしたが、日本の春と言えば桜。「さくらさくら」を歌い、一瞬にして会場へ春の風を呼び込んでくださいました。  
2曲目は、市田さんが大好きだという美智子皇后陛下の作詞された「ねむの木の子守唄」をしつとりと心に染み渡るように歌ってくださいました。

# 交流会レポート



林のぞみさん

まずは、林のぞみさん  
大好きな一曲である「シェリト・リンド」（別名「碧い空」）を高らかに歌い上げてくれました。窓枠の片隅に見えた晴れ間へ向かって素敵な歌声を披露してくださいました。

リコーダーアンサンブルを披露してくれたのはアンサンブル Milou の十人です。  
リコーダーと言ってもソプラノリコーダーやアルトリコーダーだけでなく、学校では見慣れない低音のテナーリコーダーやバスリコーダーできれいな和音を作り上げていました。  
曲は「空想の花束」から2曲。  
緊張しますーといいつつも素敵な音色を響かせ、会場に感動を与えてくれました。



アンサンブル Milou のみなさん

歌やリコーダーと言った音色だけでなくリズムを楽しむパフォーマンスをしてくださった団体もありました。子育て中のママさんたちの音楽サークル「ラララ・カンガルー」です。

かわいいお子さんと一緒に披露してくださいましたのは、リズムのまねっこ。それぞれバケツやゴミ箱を使った手作り太鼓で、お母さんのリズムをまねしながらドンドンドンと叩き、楽しそうな笑顔がこぼれました。会場のみなさんも手拍子をしながら、一緒に楽しみました。



ラララ・カンガルーさん



会長と膝を交えて音楽談義



武井紀代美さん

最後は、歌魂(うたたま)部会によるパトナーソングという歌遊びで、参加者全員が楽しく歌うことができました。

交流会の締めくくりは、やはり歌。「朧月夜」と「ロマン街道」を声を高らかに、皆が心を一つにして歌い、和やかな雰囲気です。終わることができました。ぜひ皆さんも次の交流会にはふるってご参加ください！

## 音楽協会であつながら



### はじめの



手さぐりで進めてきた当協会も二年目を迎えて組織として果たすべき役割とそこに関わっていく方々の努力によって音楽を愛する団体、個人の方々のつながりが深まってきました。その一方でまだまだ関わり方がわからない、何をしているのかわからない方々も多いのではないのでしょうか。本年度総会および懇親会の席にて出席者の皆様にアンケートを取らせて頂きました。その結果を次ページに掲載いたします。結果の中から読み取れる事はいくつかありますが、特に個人会員の方に比べ団体会員の皆様におかや音楽協会の情報や想いが届きづらい事がわかります。また実現してほしいアイデアも多くお持ちでした。

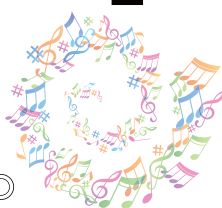
当協会は、音楽を愛する人々との連携と親睦を深め、地域の音楽文化発展に寄与し、また、児童・青少年をはじめとして広く地域社会に心豊かな生涯学習教育を推進することでおかや音楽文化のまちづくりに寄与するために発足しました。(会則第三条より)

もちろんこの崇高な目的を達成するためには個人会員の皆さんはもちろん、団体会員として所属されている全ての皆さんのご参加なくして達成はできません。

皆さんが本気で連携すればできない事はありません。

### 手をつなぐのはいつ？

## 「今でしょ!」



#### おかや音楽協会Q&A

Q、今どんな活動をしているの

A、現在「企画委員会」「広報委員会」の二委員会です。また、事業を進めていくにあたり「岡谷市民音楽祭実行委員会」「歌魂部会」でも活動をおこなっています。是非、興味のある委員会、部会に関わって活動してみませんか？

Q、団体会員でも委員会に参加できますか

A、もちろんです。ぜひお願いします。

Q、実現してほしいアイデアを持ち込むのはどうすれば良いのですか。

A、会員の皆様が提案するアイデアを企画委員会でご受け付けています。また、会員関係の音楽に関する事業の後援をしています。所定の用紙に記入の上事務局にご提出ください。

い。(用紙はホームページよりダウンロードできます。)

Q、私たちの音楽活動を皆さんに知っていただきたいのですが良い方法がありますか？

A、ブログ、フェイスブック、メルマガリストをご活用ください。音楽への想い、コンサート情報、仲間募集、活動報告など、協会員で共有してみたいかがでしょうか。

◎ おかや音楽協会ホームページは

「おかや音楽協会」で検索

◎ おかや音楽協会のブログは

「みんなで紡ぐ音の絹糸」で検索

◎ フェイスブックは

フェイスブックに各自登録の上「おかや音楽協会」で検索、「いいね」をクリック

◎ メールマガリストは

協会事務局にお問い合わせください。

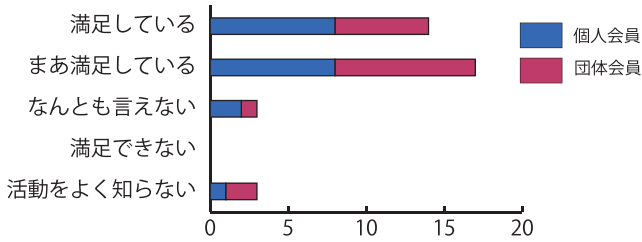
今年度は会員の皆様が気軽に集まれる交流会を予定しています。私たち一人一人がつくりあげる「おかや音楽協会」を通してすばらしい仲間と共に楽しい活動をしていきましょう。



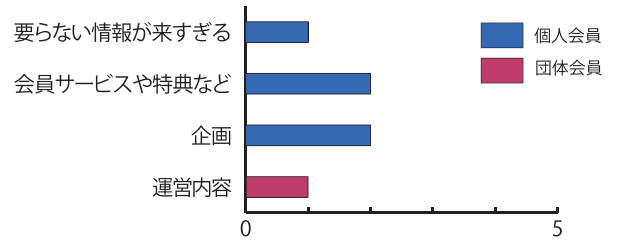
# 4月の総会、交流会にて行ったアンケート結果を集計しました。

提出頂いた個人会員 19名 (団体会員と重複の方も含める) 団体会員 17名の結果です

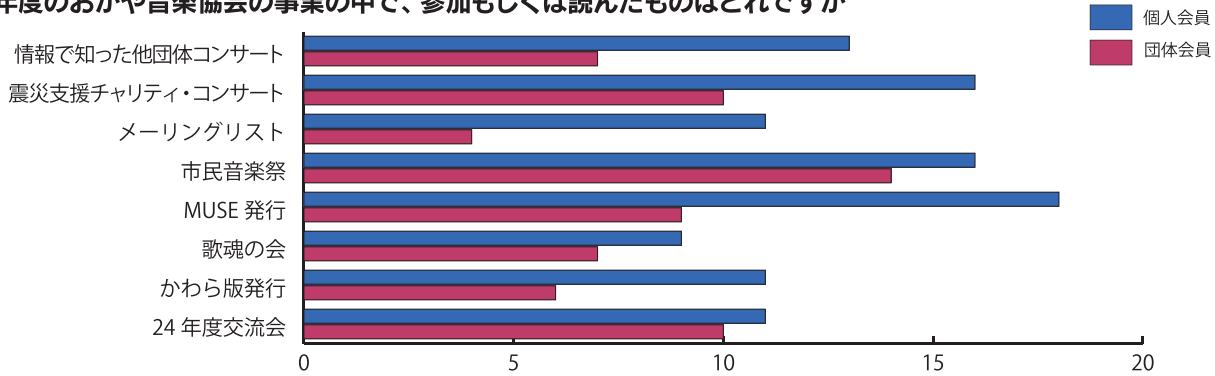
## ● 昨年のおかや音楽協会の活動に満足していますか



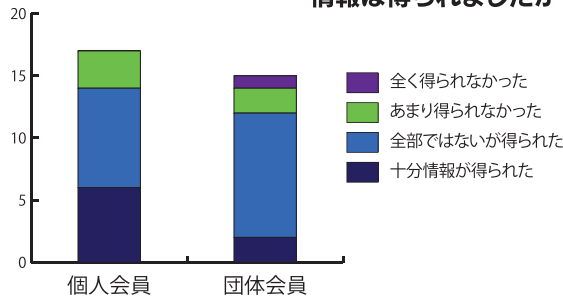
## ● どんな事柄が満足と思えなかったでしょうか



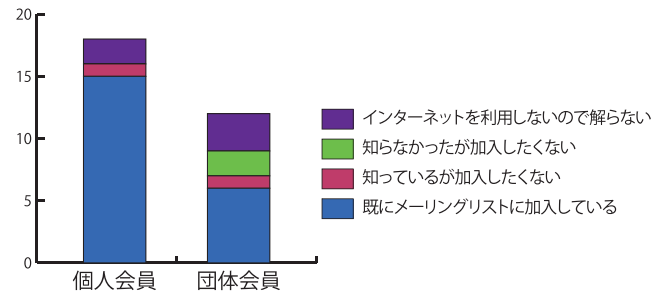
## ● 昨年度のおかや音楽協会の事業の中で、参加もしくは読んだものはどれですか



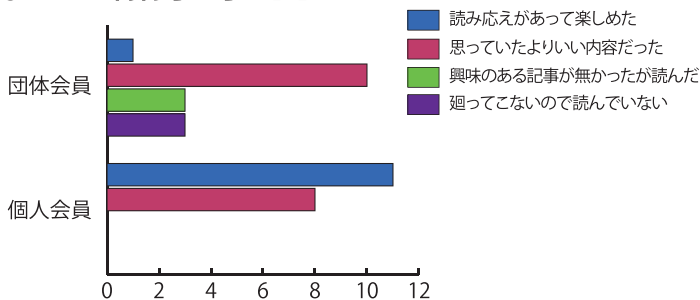
## ● 音楽協会主催、共催、後援事業等のイベントの情報は得られましたか



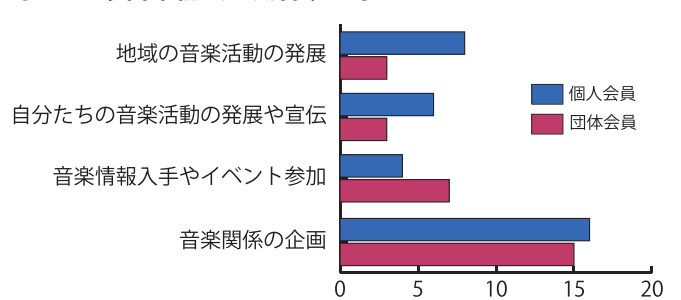
## ● メーリングリスト加入状況



## ● Muse 創刊号2号の感想



## ● おかや音楽協会に期待する事



## 今後おかや音楽協会に期待すること、実現してほしいアイデア

- ・小学校ともっとコラボしてほしい / ・海外へ行きたい。交流する学校を招待しての音楽会みたいな・・・ /
- ・歌い継ごう日本のうた楽しく歌う活動 / ・時間がかかるでしょうが、協会のあるべき姿、岡谷市の音楽の姿などビジョンを作り上げてその姿の実現のための力を注いで行けば良いのでは /
- ・器楽なので、やはり練習会場の斡旋、大きい楽器(打楽器など)の保管場所の斡旋 /
- ・あと数年は模索の時代が続くのでは・・・ / ・他の音楽祭等を皆で見に行くバスツアー / など



# 第70回記念岡谷市民音楽祭にむけて

実行委員長 澤野紳二

毎年皆さんに楽しんでいただいている岡谷市民音楽祭も今回で70回を迎えることとなりました。1年に複数回行われた年もあったようですが、およそ半世紀にわたり市民の音楽祭が引き継がれてきたことは、誠に素晴らしいことです。今回は70回記念として、いくつか楽しい企画を用意しました。まず、岡谷市民音楽祭の歴史をひもとくという狙いで、「市民音楽祭を語る会」を計画しました。7月中に開催予定ですので、かつての市民音楽祭の姿をご存じの方はふるって参加をお願いいたします。さらに30を超す出場予定団体の中から希望を募り、10月の岡谷フェスタでのプレライブ決行も考えています。そしてなんとと言っても今回の目玉は、全国大会常連の金管アンサンブル「アンサンブルファンファール」の皆さんによるミニコンサートを音楽祭当日に企画しております。来る11月3日、すわこ太郎とうーなちゃんも来る岡谷市民音楽祭（カノラホール

大ホール）に皆さんも是非お出かけください。思いがけず、ご近所やお知り合いの方が、歌や楽器演奏で出演されているかもしれないかもしれませんよ。  
それではお楽しみに……

●ごちやませウインドオーケストラ  
2013 団員募集

●ウルトラしみん合唱団大募集

詳しくはチラシ、ホームページをご覧ください

●スタッフ募集

第70回記念市民音楽祭のお手伝いいただける方を募集しています。音楽祭と一緒にづくりあげませんか。

お問い合わせは

市民音楽祭事務局（澤野）  
☎（24-4364）



## 事務局よりお知らせ

本年はおかや音楽協会の活動に賛助いただける賛助会員を広く募集致します。

お心当たりの企業、個人の方のご推薦がございましたら事務局までご連絡をお願い致します。



アンサンブル・ファンファールのみなさん

# 歌で伝えよう 日本の心 原風景

古くから歌われているわらべうた、唱歌などの歌をだれもが口ずさむことができ、その音楽を通して、人と人とのつながりがより良いコミュニケーションをとることができる。そんな音風景・岡谷のまちの夢を描き、それを実現していくために、音協の二つの部会として「歌魂部会」を立ち上げました。音楽協会発足一年目（昨年度）は、イルフカルチャーターセンターとの共催事業で、六月〜七月に四回、市内の小学生の親子を中心に「親子の歌の時間」を開催しました。そこでは親子・祖父母と孫などの参加者が、昔からよく遊んだ、えかき歌・唱歌・わらべうた・手あそびうた・むかしばなし等を楽しみました。十二月には二回、唱歌が生まれた時代やその背景、エピソードなども学びながら歌う「歌魂のつどい」を主催しました。こちらの参加者は、小学生から熟年まで老若男女が大勢集まりました。

た。そこでは、今まで歌い継がれてきた歌や日本の原風景を多くの人が大切に思っていることを、再確認することができました。

今年度は、昨年度同様の「親子の歌の時間」等の開催に加え、諏訪湖ハイツのロビーにて歌う会を開いたり、小学校の放課後子ども居場所づくりの時間に子どもたちと共に歌う機会をいただいたり、様々な場所をとらえて歌魂の輪を拡げていきたいと考えています。

また、今年度はおかや音楽協会として歌い継ぎたい日本のうた百曲を選んでいく予定です。これには四月二十一日のおかや音楽協会総会・交流会の中でとったアンケート「あなたが歌い継ぎたい曲は何ですか？」も参考に致します。ご協力ありがとうございました。

## うただま ★歌魂エピソード★

「むかしの若者」が集っているところで、こいのぼりの歌を二曲うたった。「やねより高いこいのぼり♪」「いーらーかーの波と、くーもーの波♪」  
どちらもすぐに皆が歌うことができた。

同じ日の別の場所で、同じようにこの二曲をうたってみたところ……。

「やねより高いこいのぼり♪」は歌えた！ でも「いーらーかーの……」は歌えない！  
「うーん、みなさん若い！」とほめたけれど……。

歌えたとしても「いらかの波」の景色や情景が浮かぶ人…… 浮かばない人がいらつしやいますね。

### 親子の歌の時間

6月23日(日)・6月30日(日)

10時～11時30分

イルフプラザ 3階





# コラム……カノン③ 会長 林 新一郎

過日家内に誘われて「北のカナリアたち」という映画を見に行った。北海道の離島の子どもたちが合唱を通して心が一つになってゆき、島を出てそれぞれの人生を歩む中で、二十年後再び合唱する事で旧交が暖められ、助け合ってゆくという物語だ。音楽の持つ力を感じさせる坂本順理監督の力作であった。

ところで、長野県下には、童謡・童話・童画の多くの芸術家（武井武雄・原田泰治、中山晋平、高野辰之、浅村鏡村、海沼実、さとうわきこ・松谷みよ子、等）を輩出し、又、イルフ童画館、小さな絵本美術館、原田泰治美術館、安曇野ちひろ美術館など童画や絵本人形をテーマにした施設が県内一円に点在しており、音楽芸術とも密接な関係にある。去る一月十九日中野市市民会館ホールで開催された第四十九回中山晋平記念音楽賞発表会では、諏訪清陵高校二年生の高木奏さん

が、見事最優秀賞を受賞された。この賞は中山晋平を顕彰し次世代に音楽文化を引き継ぐ事を目的に、中野市や中山晋平記念館などが主催して行われるもので、諏訪の地からの高校生の優秀賞受賞は快挙とも言えよう。加えて本年十一月二十四日に開催される「武井武雄の世界を歌おう2013」の本格始動がカノラホールで始まった。今回初演されるのは、武井武雄の最高傑作とも言われている「地上の祭」を東京音楽大学教授・麴場富美子先生に作曲を依頼した合唱組曲だ。「地上の祭」は、十二編の詩と十二枚の銅版画でなる絵本だが、これは一般的にいう絵本の域を超越した大変重厚な豪華本である。この大作に小学生から八十歳代の方まで熱心に取り組んでおられる姿は、武井武雄が生誕し、その墳墓の地である岡谷の地に相応しく頭の下がる思いをしている。

信州におけるこの様なハートウォーミングな資源を有機的に結び付け、お互いに有効活用する事は県民への啓発にも繋がりが、来県される方々への利便性も格段に向上することでありましょう。

はばたけ「岡谷のカナリアたち」



# おかげ 音楽さんぽ



三月十日に岡谷合唱団・コーラスみずべのジョイントコンサートが行われました。明日は東日本大震災から二年という日。被災地の復旧から復興へと懸命に歩む人々の「笑顔のために」と願いながらのコンサート。団員はそれぞれにその思いを歌で伝えようと心を込めた充実した時間でした。

その帰り道、団員である福島県出身の青年の口からポツツと出た言葉に衝撃を受け、その重さに心が折れそうになりました。

「ああ、僕やつと何とか「つぶてソング」が普通に歌えるようになった。今までも何回か歌う機会はあったけど、ただ口を動かして声を出していただけだった。」と言うのです。（もちろん、普通にといえるのは技術のことではなく、心の在り様のこと）そしてまた「震災のことは忘れないで欲しい」とそれは小さくとも、魂を感じさせる声で、ポツツと重いひとことがまた聞こえたのです。青年の心をしっかりと受けとめようとしたその次の日は十一日。政府主催の東日本大震災二周年追悼式が行われテレビ放映を見ました。その中で岩手県遺族代表・山根りんさんが言葉を述べた中の一節「東日本大震災がづらい記憶ではなく、未来につながる記憶となるよう、被災地から若い世代が行動していきます。」力強い言葉が心に残りました。

※**つぶてソング**とは 作詞・和合亮一 作曲・新実徳英

詩人の和合亮一さんは福島市生まれ。東日本大震災で被災され、翌週から「ツイッター」で作品の発信を続け話題になりました。作曲の新実徳英さんが過酷な被災地の中で詩人が語句を発し始めたことに気づかれ、自ら「つぶてソング」と名づけて「歌」の連作を始めました。

三月の二日間の出来事を胸に刻み、それから何日かが過ぎた日曜日。山根さんの言葉のように岡谷で若い世代が音楽を通じて自分も他の人々も元気にできるような活動をしているところを探してみよう！と思い立ち、散歩に出かけてみました。足の向いた先は岡谷の誇るべきカノラホール。何気なく入ってみると、静けさの中に、天使のような歌声が聞こえてきました。カノラ少年少女合唱団が練習しているようです。そこで、声のする場所に、抜き足差し足忍び足でそっと忍び込んでみると、なんのなんの、この合唱団は、来て頂いた方には誰にでも練習を公開しているとのこと！気楽に練習場に入ることができ、うれしい限り。その様子を少し紹介したいと思います。

## カノラ少年少女合唱団



合唱団は平成三年に発足、今年で設立二十二周年を迎えます。平成元年十一月にカノラホールがオープンし、その三年後、岡谷市と岡谷市教育委員会の肝いりで誕生した合唱団です。

小学生から高校生までの児童が現在在は90名在籍しているとのこと。歌いたいと思う児童を誰でも受け入れ、また地域の枠を超えてあちらこちらから通っていただきます。

活動は様々なイベントへの参加や、岡谷市姉妹都市のアメリカマウントプレザント市との交流などもあり、幅の広さが感じられます。多くの経験を積み、感受性豊かなこともが育つのだと思います。

2時間の練習時間を休む暇なしの集中練習が続きますが、合間をぬってそつとインタビューしてみました。

今、何の歌を歌っているのかな？

昔の遊びを歌で歌っているの

昔の遊び？  
さて、どんな遊びが飛び出すのでしょうか。



あそび歌を次から次と歌い、遊びをしながら、しかも一人ひとりがのびのびと表現して見せてくれるその姿には、脱帽でした。思わず一緒に遊びたくなってしまいう程の子供たちの演技の余裕も感じました。

合唱が始まる前に、『準備運動始めます！』と言うので、柔軟体操かと想像したのですが：

「一 拍子 1・1 二 拍子 1・2 三 拍子 1・2・3」と声を出し、拍子をとりながらの屈伸運動からの始まりでした。

- ☆かごめかごめ ☆ひらいたひらいた
- ☆なべなべそっこぬけ ☆じゅうごやさんのもちつき
- ☆お寺の和尚さん ☆いちじくになじん
- ☆かくれんぼするものよつといで ☆くまさんくまさん
- ☆ゆうびんやさんのおとしもの ☆とおりやんせとおりやんせ
- ☆あんたがたどこさ ☆はないちもんめ
- ☆羽根つき ☆毬つき ☆紙風船 ☆フラフープ
- ☆めんこ ☆お手玉 ☆独楽廻し ☆けん玉
- ☆電車ごっこ ☆一番星みつけた

## 入団のきっかけは何か？

お父さんがごんべの合唱団やっていたから。私も歌が好きだから勧められた。

友達が入っていて誘われた。自分も歌が好きだから入った。

20周年コンサートを聴いて入りたいと思った。

兄ちゃんが入っていて、いつも楽しそうだったから。

中学の時に合唱やっていて、中学同士の交流合唱指導の先生が楽しくて、歌うことが好きになった。もつと歌いたいと言ったら、こついつとところがあると教えてもらい入った。入ったらみんなが大きな声を出して歌うので、今はめっちゃ楽しい。学校ではなんか声を出さない人もいてね・・・そついつのつて楽しくないよ。ここは先生たちも楽しい。カノラは高校卒業したら終わるから、次は大学でも合唱をやりたいと思ってる。今は本当に練習が楽しいよ！

この合唱団のご指導をされている先生方の願いは、みんな仲良くキラキラと歌ってくれると嬉しい。団歴の長い子どもさんが大勢いて成長の過程が見えるので張り合いです。ここは音楽を通して人間関係の学習もできる場所。自分も好き、他人のことも好きと認め合える人間関係になったら嬉しいですとのことでした。若い世代がこんなに生き生きしている！この元気を見てみんなが笑顔になれる。素敵です。

(金子)



# 団体会員紹介

## アンサンブル Milou



中学校以来手にしていなかったリコーダーをやろうよと集まったオジサンとオバサングループです。楽譜もまだまだ十分読めませんが、夢は大きく＝リコーダーやハンドベル等でコンサートをやろう!! と月 2 回の練習に励んでいます。夢叶いコンサート開催の折には是非お出掛け下さい。

連絡先：横内 和幸

TEL : 0266-23-7890

MAIL : kyokouchi@leaf.ocn.ne.jp

## ふらっとb



こんにちは。私たち「ふらっとb」は子育て中の仲良しママで結成したコーラスグループです。メンバー 8 人で楽しく練習に励み、デイサービスセンターや市内の施設等で少しずつコンサート活動を行っております。常にふらっとらしさを大切に、歌声に私たちのハートを込めながら、たくさんの方々に元気パワーを届けたいと願って歌うことをモットーとしております。ふらっとオリジナルのアレンジやステージ構成などもぜひ楽しんで見ていただけたら嬉しいです。

連絡先：林 みな 090-2669-1121

## 女声コーラスしなの



1983 年長野県岡谷市で結成。故関屋晋氏を常任指揮者として 20 年近く指導を受け、2002 年より団内指揮者であった佐原玲子氏を常任指揮者に迎え、より良いハーモニーとアンサンブルの向上を目指すと共に、指揮者の溢れる情熱とパワーに導かれ、アンチエイジングに励んで練習しています。現在団員 38 名。ほとんどが主婦で、家事、介護や仕事に追われるなか、県内各地よりおかやに集合して、毎週金曜日に練習しています。

連絡先：和田美智子

TEL : 0263-98-4021

MAIL : pf-michiko@i.softbank.jp

# 岡谷合唱団



岡谷合唱団は1953年6月に岡谷で生まれ、岡谷で育ってきた合唱団です。創立から61年間、様々な音楽活動を経験させていただきました。渡辺功氏、関屋晋氏に引き続き、現在は団内指揮者だった佐原武を常任指揮者として活動してきています。現在団の規模は小さくなりましたが、だからこそ一人一人が楽しく充実した歌が歌える合唱団を目指して、ヴォイスディレクターの久米聖一氏をお迎えし、呼吸法や発声法を学びながら声作りに取り組み、ハーモニーを楽しみつつ、アンサンブル活動をしています。

今年は12月22日（日）にカノラホールにおいてクリスマスコンサートを開催する予定です。

連絡先：赤池 さとみ TEL：0266-23-5876  
MAIL：akaike1182000@yahoo.co.jp

# ラララ・カンガルー



子育て真っ最中の音楽好きママが集まった「ラララ・カンガルー」。昨年10月に諏訪湖ハイツで子ども向けコンサートを開催。童謡唱歌や手作り太鼓・鍵盤ハーモニカ・バイオリン等の楽器演奏、歌での読み聞かせ等で盛り上がりました。

メンバーが、仕事復帰等で県内各地に点在していたり、小さな子どもを抱えていたりして、準備・練習の時間は満足に取れませんが、これまでの経験や技を生かして、今年も“親子で楽しむ音楽コンサート”をつくりたいと考えています。

連絡先：竹内 薫 TEL：0263-27-6626  
MAIL：take5no28ko@gmail.com

# 団体会員のみなさま

このコーナーでは次号より個人会員のみなさまを順次ご紹介してまいります。取材のご協力をよろしく願います。

個人会員 59名 5月現在

青葉愛唱会  
川岸女声コーラス  
ススキ・メソッド 岡谷諏訪支部  
カノラ少年少女合唱団  
岡谷熟年歌唱会  
混声合唱団「岡谷せせらぎ会」  
歌い人ごんべ  
カノラータ・オーケストラ  
六和会  
ハーモニカ21  
やまびこ男声合唱団  
アンサンブル Milou  
ふらっと  
女声コーラス しなの  
岡谷合唱団  
ラララ・カンガルー  
(順不同)

# あなたの音楽体験手記 お寄せ下さい

おかや音楽協会では地域の音楽文化発展を、そして音楽によるまちづくりを目指しています。そのためには、より多くの地域の方も音楽に親しみ、触れる機会にもう一步踏み込んでいただく事が重要と考えます。それには「いちやく音楽と出会い、すばらしい人生を歩んでいる身近な人」の体験を知る事が、大きなきっかけになると思います。

そこで皆様の音楽についての体験、すばらしい音楽や音楽団体との出会いなどを、順次インターネットの[おかや音楽協会ブログ]上に掲載し発信してまいります。特にすばらしいものは選考の上、会報誌 MUSE などでも今後紹介していきたいと考えております。

音楽のある人生の素晴らしさ、素敵な仲間との出会い、音楽で豊かになった人生経験など、皆さんの素朴な生の声が、人々の心に大きな波紋を起し、ひいては音楽に親しむ契機となります。そして団体会員の皆さんの会員増加にもつながる事になると思います。

お忙しい事とは存じますが個人会員はもとより、団体会員の皆様全員の声をいただきたく、よろしく願いいたします。

## 方法

以下に挙げるようなテーマ、もしくは上記趣旨に沿った内容の手記を、おかや音楽協会にお寄せください。

できれば6月末日までをお願いします。

◎文字数は200字～1500字くらい

◎テーマ例

私の好きな音楽      音楽との出会い      ○○(音楽団体名)との出会い      ○○の思い出  
感動した○○コンサート      ○○(音楽団体名)の活動紹介      私を変えた○○  
私の考える音楽とは      音楽の楽しみ      ○○入団のきっかけ      等



※可能な限りメールで、データとして送信していただくと助かります。

※できれば著者の実名がありがたいのですが、不都合な場合はペンネームをつけてください。

※所属団体名、教室名等は実名をお願いします。

※演奏、合唱の様子や、テーマに沿った写真、掲載希望のイラスト等を添付してください。

## データ送り先

メール      okayaonkyo-kouhou@outlook.com

ファックス      0266-22-3107

郵送      〒394-0035 岡谷市天竜町2-3-3 佐々木一夫 迄 よろしく申し上げます。

おかや音楽協会ブログは <http://blog5.yahoo.co.jp/okayaonkyo>

または[みんなで紡ごう音の絹糸]でネット検索

# コンサート情報

開催日時	コンサート・イベント名	主催団体または参加団体	場 所
毎月第3土曜日	ロビーコンサート	六和会	湖畔病院
6月23日(日)10時	親子の!歌の時間	おかや音楽協会	イルフカルチャー3階音楽室
6月29日(土)14時	歌い人ごんべ 第6回演奏会	歌い人ごんべ	辰野町民会館ホール
6月30日(日)13時	諏訪地区童謡・唱歌を歌う会	青葉愛唱会・岡谷熟年歌唱会	下諏訪文化センター
6月30日(日)14時30分	カノラータオーケストラ第12回定期演奏会	カノラータオーケストラ	カノラホール
6月30日(日)10時	親子の!歌の時間	おかや音楽協会	イルフカルチャー3階音楽室
7月7日(日)14時	川岸女声コーラス 30周年記念コンサート	川岸女声コーラス	カノラホール
7月14日(日)14時	JAMCA 信州演奏会	主催 日本男声合唱協会 主幹 やまびこ男声合唱団	カノラホール
7月14日(日)13時	長野県童謡・唱歌を歌う会	青葉愛唱会・岡谷熟年歌唱会	飯田文化会館
7月20日(土)13時	岡谷市民音楽祭を語る会	おかや音楽協会	諏訪湖ハイツ
10月20日(日)11時	0歳児からのコンサート 「第二回親子deわくわくコンサート」	ラララ・カンガルー	諏訪湖ハイツ
10月26日(土)18時30分	第59回 岡谷せせらぎ会リサイタル	岡谷せせらぎ会	カノラホール
10月27日(日)10時	おかや音楽協会諏訪湖マラソン応援隊	会員有志	諏訪湖ハイツ前
10月27日(日)13時	第49回才能教育甲信地区大会	スズキ・メソード 岡谷諏訪支部	カノラホール
11月3日(日)9時30分	第70回記念 岡谷市民音楽祭	岡谷市教育委員会・おかや音楽協会	カノラホール
11月24日(日)14時	第7回緑と湖のまち音楽祭 武井武雄「地上の祭」	カノラホール	カノラホール
12月8日(日)14時	カノラ少年少女合唱団定期演奏会	カノラ少年少女合唱団	カノラホール
12月22日(日)14時	カノラータオーケストラ クリスマスコンサート	カノラータオーケストラ	カノラホール小ホール
12月23日(月)	岡谷合唱団 クリスマスコンサート	岡谷合唱団	カノラホール小ホール

## 編集後記

MUSEの編集が進まず焦りが募る五月の連休後半、縁あって合掌集落で有名な五箇山の近く、富山県南砺市の城端(じょうはな)曳山祭りに招かれました。

三百年続く国の重要無形民俗文化財指定の由緒ある祭りの夜の部に民家にしつらえた棧敷席を用意していただけたとの連絡を受けて、御柱祭の棧敷のイメージで酒とつまみを手土産に祭り会場へ向かいました。京や高山などの文化の流れを感じさせる六台の豪華な山車と庵(いおり)屋台と言われる茶店を模した精巧な屋台が棧敷に順番に廻って来ます。庵屋台の中には十名程の唄い手と笛太鼓が入り、風雅な庵唄を披露します。

驚いたのはそんな庵屋台を待ち受ける棧敷の客達。私の祭りの感覚では酒を飲みながらワイワイやってお囃子を楽しむのだろうと思っていたところ、三十名程の客全員、舞台となる縁側向きに座布団の上に四角に座り、一滴の酒も飲まずに正座して背筋を伸ばして屋台と山車を待ち受け、丁寧に唄いを拝聴するのです。こんな田舎町(失礼)に根づく文化の高さに感嘆しました。

こうした祭りを三百年も継承しているとの事。この事の裏には唄いや囃子を継承する百名を越す若集会や山車の管理をされる方々の並々な努力や支える地域の理解、そして文化度の高さが必要です。どんな祭りも熱い想いで始めた人がいて、その想いを広め伝え、受け継いで来た多くの人々がいたからこそ歴史となり、重みを増して文化となります。



音楽のまちづくりもしかり。三百年経っても更に素晴らしい文化としてこの地の誇りとなる為にも、おかや音楽協会二年目の今が大切と思いました。

(佐々木)

【訂正とお詫び】

MUSE 秋号 No.2

☆ウルトラ市民合唱団活動紹介の中の

写真のお名前、山崎朝子さんを

矢崎朝子さんに訂正します。

矢崎さんにはお詫び申し上げます。





# おかや音楽協会

人・音・夢

都 宮 宮 宮 林 金 今 佐  
築 澤 坂 下 林 子 井 々  
茜 綾 久 雄 み 慶 康 一  
乃 乃 恵 飛 な 子 善 夫

編集委員



会報 MUSE(ミューズ) 2013年 夏号

発行元 おかや音楽協会

発行日 平成 25年 6月 1日

TEL : 0266-22-1965 (事務局 : 高木)

WEB : <http://okayaonkyo.com/>